

第8回 都市開発計画 ～急速な都市化が生む諸問題の解決～

皆さんこんにちは。2003年9月に、ロンドン大学 University College London, Development Planning Unit にて、Urban Development Planning を学びました、山崎江利奈と申します。

所属していました Development Planning Unit (通称 DPU) の学習環境やコースの構成などについては、第7回のイギリス通信で、森下さんからご紹介があった通りですので、私は Urban Development Planning (通称 UDP) の概要と修士課程終了後の感想を紹介させていただきます。

2003年9月に終了した MSc in Urban Development Planning の修士課程には、15名の学生がおり、アジア出身者が半分を占めていました(日本人は2人)。このコースの特色は、開発の対象を都市部としていることです。多くの途上国では、急速な都市化が社会・経済・政治的な変化を生み、人々の生活環境を悪化させているという事態が見られます。その改善や解決のために開発計画、都市政策はどう対応すればよいのか、それを研究することがコースのテーマです。都市部という社会・経済・政治活動の集積した環境において、そこで生活する全ての人々が食事や仕事、住宅や交通、上下水道、医療や教育といった公的なサービスにアクセスするためには、どのような政策や計画が必要で、またいかに実施されなくてはならないか。その中で、都市計画家の役割とは、その限界と可能性とは何かといったことを理論と実践の側面から研究します。

UDP コースも、前回紹介された森下さんのコース同様4ターム制です。修士号取得には、通年で8科目と修士論文の単位が必要となります。UDP コースの4つの必修科目には、都市政策・計画・管理の理論と実践、グローバル化と都市開発、都市開発を支える組織の変化、都市開発の戦略的政策があります。残りの4科目は、都市経済開発、環境と持続可能な開発、建築と都市デザイン、紛争と多民族社会における開発などから選択します。授業の多くは、前半は講義、後半はセミナーやワークショップという形式がとられます。クラスの規模は、多くても30人前後で、質問や発言がしやすい雰囲気です。後半は、生徒が交代でプレゼンテーションをしたり、前半の講義に関するディスカッションが行われたりします。第1、2タームは、1週間に4科目の授業に出席することになります。最初の時期は、予習のための Reading で忙しい日々が続きますが、課題の提出が近くなると、そちらに取り組むことが優先となってしまう、予習ができないまま授業に参加するということもありました。

第3タームは、ガーナへのリサーチトリップに参加しました。概要は前回のイギリス通信をご参照下さい。これは単位には加算されませんが、UDP コースの必修活動です。このリサーチトリップは、私にとって、生活環境の改善が必要な途上国の現場を、直接見ることができた衝撃的な経験でした。これまで机上で理解してきた途上国の貧困を心で感じ、また途上国で働くことがどういうことであるか、一部体験できたように思います。事前の文献調査、現地調査に基づいて、グループで提案した開発計画は、現地の自治体の方々によって実際に検討されます。単なる模擬体験ではなく、実際に現地の生活環境改善に役立つ可能性を含むプロジェクトであったため、真剣にそして緊張感を持って取り組みました。また、

DPU の学生の間では、約 2 週間寝食を共にし、皆でプロジェクトを完成させたことで、これまでの結束がより固くなったように思いました。

第 4 タームは、修士論文執筆期間です。指導教官に論文の進捗報告や相談する時間を除けば、大学に行く必要はなく、自宅や図書館で論文を書いて過ごしました。この期間は、時間的にも精神的にも自分の論文に専念できる時期でしたので、論文執筆の傍ら、NGO でインターンをしたり、DPU の友人たちと頻繁に集まったり、旅行に行くなどして過ごしました。

1 年間を振り返ると、留学の目的であった開発に関する知識や理解、調査や評価に関する手法を身に付けるということ達成できた、同時に、自分の内面的な成長を実感できたという点で、このコースを終了したことを大変うれしく思っています。多数のエッセーに追われて苦しい時期もありましたが、それによって、多くの文献を読み解き、分析・考察する力とそれを英語で表現するスキルが修練されたように思います。また、様々な課題に取り組む中で、開発分野の中での自分の専門を絞ることができたことは有益でした。それ以上に、この 1 年を DPU の仲間たちと共有できたことは、私にとって財産であり、今後に生かしていきたいと思っています。

個人的な感想が多くなりましたが、以上が私の経験した 1 年です。DPU や UDP コースに関する質問がありましたら、イギリス通信のメールアドレス (uktsuushin@aol.com) を通じて、遠慮なくお問い合わせ下さい。

2004 年 2 月 22 日

ロンドン大学 University College London
都市開発計画 修士課程 修了
山崎 江利奈